

第3号様式（第6条関係）

2025年 1月 6日

戸田市共創のまちづくり補助金応募用紙（SDGs応援事業補助）

（宛先）

戸田市長

団体名 Pico22（ピコニャンニャン）

代表者職・氏名 代表 清水真奈美

所在地

事業名	Cat&Art! 2025		
SDGsの 該当ゴール	SDGsの15である「陸のいのちを守る」啓発活動 SDG s 15：陸の豊かさも守ろう SDG s 17：パートナーシップで目標を達成しよう		
確定前交付の 希望	☐ 希望する		☐ 希望しない
連絡担当者	氏名		
	住所		
	電話		
	Fax		
	E-mail		
ホームページ	https://www.officemirai.com/cat		
設立年月日	2022年 6月 22日 設立		
会員数	12人		
年会費	0円／1年間		
団体の目的	本会の目的は、「Love & Care」をコンセプトに、『保護猫と里親様』をお繋ぎする活動を通じて会員相互の交流をはかり、『野良猫殺処分ゼロ』を目指し、人も猫も共生した住み良い地域環境を推進することを目的とする。		

主な活動実績	<u>2022年6月～2023年3月</u> 【保護・譲渡・TNR】 ・保護 19 匹 ・譲渡 19 匹 ・TNR 3 匹 【協働活動】 他団体の多頭飼育崩壊現場のレスキューのサポートに入る。 ・戸田市笹目（室内）現場の「保護・譲渡」 ・戸田市上戸田（室外）現場の「保護・譲渡」 <u>2023年4月～2024年3月</u> 【保護・譲渡・TNR】 ・保護 41 匹 ・譲渡 40 匹 ・TNR 2 匹 【彩の国動物愛護推進員】 代表の清水真奈美が彩の国動物愛護推進員となる。 【協働活動】 戸田市共創のまちづくり補助金団体協働事業補助の交付事業として『目指せ！「戸田市・野良猫ゼロ活動」～人と猫が共存するまちづくり～』に協働参加する。※補助金申請団体：ねこちゃんず8 【啓発活動】 2024年2月11日『Cat&Art!2024～保護猫チャリティ～』初開催 戸田市文化会館 展示室 参加人数100名 集客人数600名 ①獣医師によるセミナー、ダンス、音楽 ②アートの展示、ワークショップ ③市民ギャラリー ＜チャリティ募金箱の設置＞ 合計金額：77,950円 ① 日本赤十字社埼玉支部（能登半島地震） 51,520円 ② 日本赤十字社（中東人道危機救援金） 26,430円 <u>2024年3月～2025年3月</u> 保護数27匹、譲渡数16匹 ※2024年12月現在
これまでの補助金等の援助状況	無し

団体PRなど

Pico22（ピコニャンニャン）は、彩の国動物愛護推進員である代表の清水真奈美を中心に戸田市と蕨市で『保護猫と里親様』をお繋ぎするボランティア活動をしています。ボランティア活動のため、保護する時の費用は発生しません。

シェルターなどを持たず個人宅で預かるため、保護猫も家猫として過ごすことができるため、人馴れ、家慣れが早く、譲渡に繋がっています。地域の企業様のご協力を得て、戸田公園駅近くの譲渡会場を無償でお借りできるので、一年中室内で譲渡会が開催できます。

メンバーは、それぞれ仕事をしながらの活動ですが、家族の理解があり家族で保護した猫に愛情を注ぐ協力が得られ、また預かりした保護猫の譲渡から里親様のアフターフォローが行き届いています。

保護猫の医療については、ワラビー動物病院との信頼関係があるため、啓発活動への獣医師のセミナーなどのご協力や保護した野良猫に関してのサポートが得られます。具体的には、昨年度より啓発活動にも積極的に取り組むため、「Cat&Art !2024～保護猫チャリティ～」を開催し、アートとコラボレーションすることで、多くの市民の皆様には保護猫活動への理解や保護猫活動を知っていただく啓発活動を展開しています。

Pico22（ピコニャンニャン）のパンフレットを作成し、野良猫を保護することや、里親になるための譲渡条件などを事前に理解しやすいように啓発をしています。

戸田市のボランティア登録団体として、地域のご相談者様が安心してご相談できるように無料でサポートやアドバイスができるように会員が意思統一しています。

一つの団体や一人の個人が多く保護することによる多頭飼育崩壊を未然に防ぐために、一人でも多くの人が保護猫活動に参加しやすいように捕獲器のレンタルやケージのレンタルも無償でしており、保護猫活動に参加しやすい環境作りに努力をしています。

保護猫が里親様の家猫になってからも安心して暮らしていけるように、里親様との信頼関係をもてるように心がけております。

《事業企画書》

1 事業の目的・必要性・課題

SDGs の該当ゴール

SDGs 15 陸の豊かさを守ろう

SDGs 17 パートナリーシップで目標を達成しよう

陸のいのちを守り、再生していくためにやるべきことを掲げた目標に向けて、私たちは、野良猫を保護猫から家猫にしていくことで、地域の環境美化や小さないのちを繋いでいくことができることを、多くの市民に知ってもらいたい。この活動を通して、市民一人ひとりにできることを考えてもらうきっかけとし、行動につなげてもらい持続可能な、より良い未来へのバトンを繋ぐことを図る。

SDGs ゴール

SDGs 15 陸の豊かさを守ろう

<目的>

陸の動植物の中で保護の対象となっている野良猫を保護し、家猫につなぐ活動することで、命を守る大切さを一人でも多く、市民に知っていただくことを目的とする。

<必要性>

野良猫を保護し、保護猫から家猫にしていく活動を推進していくためには、市民の方に対して、地域の環境美化や命への関心を高めることが必要だと考えます。今回はそのために啓発活動を行うことが必要であると考えます。

<課題>

猫に興味がない市民の方への啓発方法が課題だと感じています。

そのために、イベントをとおして少しでも野良猫や保護猫に関心を持っていただき、考えていただける機会の創出をしたいと思います。

SDGs 17 パートナリーシップで目標を達成しよう

<目的>

一人ひとりにできることを考えてもらうきっかけとし、行動につながる持続可能な、より良い未来へのバトンを繋ぐこと。

<必要性>

保護猫活動を行う活動者や、理解者を増やし、多頭飼育崩壊につながる危険性を少しでも減らすために、啓発が必要であると考えます。

※多頭飼育崩壊とは、飼い主が世話をできる数を越えたペットが増え、適切に飼育できなくなる状況です。当会の代表が経験した現場では、原因として、動物の繁殖力への知識の不足や、経済的な貧困、地域社会からの孤立、飼い主の高齢化や健康状態の悪化などの方がいらっしゃいました。

<課題>

保護猫活動によって野良猫の保護もされているが、こうした団体のほとんどが人手不足、資金不足なため、こうした団体への支援や自然生態系の保全・再生に関心を持つ理解者を増やすことが課題である。

2 事業の具体的内容

Cat&Art! 2025（啓発活動）を下記のとおり実施します。

開催日：2025年2月16日（日）

時間：11:00-16:00

会場：下戸田公民館（中会議室・大会議室）

【PR方法】

- ・パンフレットを作成して地域の方々に配布
- ・Pico22（ピコニャンニャン）のホームページ、Instagram、ブログで告知
- ・戸田市SNSでの周知
- ・公共施設へのチラシの配架
- ・戸田市ボランティア・市民活動支援センターの掲示板などに掲載
- ・メンバーが個人的に告知

【運営主体の構成人数】

- ・Pico22（ピコニャンニャン）12人
- ・ボランティア2人～5人（里親様）
- ・ボランティア5人（アートの展示、ワークショップ）

【内容】

- ①獣医師によるセミナー 講師：矢作聡志先生（ワラビー動物病院）
- ②獣医師への質問：教えて矢作先生
- ③保護猫の写真展示
- ④トルコエブルアート※トルコは世界一猫に優しい国と言われている。
- ⑤猫のアートのワークショップ、販売
- ⑥障害者アート、動物基金のポスターの展示
- ⑦動物基金で作られた絵本の配布
- ⑧Pico22の団体パンフレットの配布

3 事業実施のスケジュール

月 日	内 容
10月30日	打合せ
10月30日	会場下見
11月18日	打合せ
11月24日	会場下見
11月27日	打合せ
12月21日	打合せ・会場下見
1月中旬	チラシ配架
1月下旬	参加者による事前ミーティング
2月16日	Cat&Art! 2025（保護猫啓発活動）

4 事業の成果目標（具体的数値を用いてください。）

Cat&Art! 2025（保護猫の啓発活動）

目標参加者及びその人数：セミナー 参加者60名 ご来場者300名

①保護猫の啓発活動（陸のいのちを守る）

- ・矢作聡志獣医師によるセミナー（60分）
テーマ「犬や猫の病気について」
- ・教えて矢作先生（30分）
参加者より、矢作先生への質問コーナー

②猫の写真展示

- ・保護猫の写真を展示して里親様募集に繋げる。
- ・譲渡して家猫になった写真の展示により活動の尊さを伝える。

③アートのワークショップ

- ・トルコエブルアート
- ・猫のアートのワークショップ、販売
- ・障害者アートの展示
- ・動物基金絵本の配布：50冊
- ・動物基金ポスターの展示：5枚
- ・Cat&Art!2024参加者による寄せ書きポスターの展示：2枚

猫のアートのワークショップや販売によって、保護猫に対する優しいや心の豊かさが生まれるような体験をしてもらい、陸のいのちの大切さを伝える。

来館者に動物基金の絵本、Pico22のパンフレットの配布や動物基金のポスターを展示して啓発を図る。

SDG s 15 陸の豊かさを守ろう

来場された方に、猫のアートのワークショップや販売によって、保護猫に対する優しさや心の豊かさが生まれるような体験をしてもらうことで、SDG s 15陸の豊かさを守ろうである、陸の命の大切さを感じていただき、陸に生きるすべての命の尊さを感じてほしい。

SDG s 17 パートナリーシップで目標を達成しよう

当団体の会員や、ボランティア、そして本事業に関わる方々はもちろんですが、参加して下さった方とともに、自然生態系の保全・再生に関心を持つ理解者を増やしていけることを目指していきたいです。

《収支予算書》

【収入】

科 目		予 算 額	内 訳
補助 金・ 助成金	当補助金	50,000	
	その他	0	
自己資金		50,000	
会費		0	
利用者負担金		0	
協賛金・寄附		0	
その他		0	
合 計		100,000	

【支出】

	科 目	予 算 額	内 訳
補助 対象 経費	委託費	55,000	チラシデザイン委託費 →文章・構成編集費 (コピーワーク) 30,000 円 →レイアウトオペレーション費 20,000 円 →消費税 5,000 円
	謝礼金	10,000	講師への謝礼 (お菓子等)
	消耗品費	5,000	文房具、スタッフネクストラップ等
小 計		70,000	内 訳 補助金申請額 : 50,000 自主財源 : 20,000
補助 対象 外 経費	印刷製本費	20,000	チラシ印刷 (プリントバック 10,000 枚)
	使用料	10,000	会場費
小 計		30,000	
合 計		100,000	

